

# 大使館情報

2019年1月

## 【目次】

### 1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（12月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

### 2. ブラジル政治情勢（12月～新政権発足までの出来事）

#### [内政]

- (1) 当選認証式でのボルソナーロ次期大統領のスピーチ
- (2) ボルソナーロ新政権の発足
- (3) 2019年予算の議会承認

#### [外政]

- (1) COP25開催の見送り
- (2) 国連移住グローバル・コンパクトからの離脱発表
- (3) 伯パラグアイ首脳会談

### 3. トピックス

- (1) 平成30年度天皇誕生日祝賀レセプションの開催
- (2) 平成30年度官民合同会議の開催
- (3) 「ニッポカタリネンセ」「FANSC」と日本NPO法人「海の国・日本」による共同ワークショップ（在クリチバ総領事館）
- (4) カスカヴェル文化体育協会50周年記念式典における日本祭り、太鼓公演及び太鼓ワークショップ（在クリチバ総領事館）

### 4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

## 1. ブラジル・マクロ経済情勢

### (1) 経済情勢等 (12月発表の経済指標)

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、12月28日時点で、GDP成長率予測については、2018年は1.30%で先週と変わらず、2019年は2.55%で先週から0.02%上昇した。インフレ率については、2018年は3.69%で前週と変わらず、2019年は4.01%で前週から0.02%減少した。

(イ) 10月の鉱工業生産指数は、前月比+0.2%で4ヶ月ぶりのプラス、前年同月比は+1.1%で前月のマイナスからプラスに転じた。

(ウ) 10月の小売売上高は、前年同月比+1.9%で前月の+0.1%から上昇したほか、前月比▲0.4%と2ヶ月連続のマイナスを記録した。

(エ) 全国の失業率(9～11月の移動平均)は11.6%となり、前回の公表値(8～10月の移動平均)から0.1%下落して8か月連続で改善した。

(オ) 11月の貿易収支は、輸出額は210.90億ドル(前年同月比+26.41%、前月比▲3.91%)、輸入額は168.62億ドル(前年同月比+28.30%、前月比+4.70%)で、差引き42.27億ドル(前年同月比+19.40%、前月比▲27.64%)となり、45か月連続で貿易黒字を記録した。

(カ) 11月の拡大消費者物価指数(IPCA)は単月で▲0.21%となり、前月の0.45%から減少した。今月のインフレ率は▲0.23%を記録した2017年6月以来の低水準で、11月としては1994年以来の最低水準。過去12か月累計では4.05%となり、政府のインフレ目標(4.5%±1.5%)内の水準で推移している。

### (2) 経済政策等

(ア) 調査会社IBOPE社が11月29日～12月2日に2,000人を対象に実施した世論調査によると、「ボルソナーロ政権は非常によい又はよい政権になる」との回答は64%(「非常によい」25%、「よい」39%)に上った。「普通」は18%、「悪い/非常に悪い」は14%。また、「ボルソナーロがこれまでに発表した政策はよい方向性にある」との回答は75%に達した。

(イ) 調査会社Datafolhaが12月18日～19日に130市の2,077人を対象とした世論調査によると、アンケート回答者の65%がブラジル国内経済は早晚上昇基調を取り戻すと回答。

(ウ) ボルソナーロ大統領、モウラオン副大統領及びゲデス経済大臣が年金改革案の必要性に言及。受給開始年齢や積立方式の導入が検討されている。

(エ) サンパウロ市は、市公務員の給与における年金負担率を現行の11%から14%に変更する法律を承認。市公務員により構成される労働組合は本件に対して、2月4日からストライキを実施する旨宣言。

### (3) 中銀の金融政策等

(ア) 12月11日及び12日に開催された、テメル政権最後の金融政策委員会は、政策金利(Selic)を年6.50%に据え置くことを決定。据え置きは6会合連続となる。

(イ) 次回金融政策委員会は、2月5日及び6日に開催予定。

### (4) 為替市場

- (ア) 12月の為替レートは、1ドル3.8レアル台から3.9レアル前後の範囲内で推移。
- (イ) 月の前半は、中国のファーウェイ社CFO逮捕による米中摩擦の再燃、米国追加利上げ観測等によるリスク回避傾向や年末を控えたドル買いレアル売りの加速により、レアル安傾向。
- (ウ) 月の後半は、伯中銀の為替介入や米国政府機関閉鎖懸念、旺盛な年末のドル買い需要で全体的にレアル安傾向。年末は米国株式市場の下落により、レアル買いが進行。1ドル=3.87レアルまで水準を回復した。

## (5) 株式市場

- (ア) 12月のブラジルの株式相場 (Ibovespa指数) は、全体的に下落傾向。
- (イ) 月の前半は、中国のファーウェイのCFO逮捕による米中貿易摩擦の悪化、米国追加利上げ観測等によるリスク回避傾向が強まり、下落。
- (ウ) 月の後半は、米国の政府機関閉鎖懸念やクリスマス休暇による取引減少により、下落傾向。

## 2. ブラジル政治情勢 (12月～新政権発足までの出来事)

### 【内政】

#### (1) 当選認証式でのボルソナーロ次期大統領のスピーチ

12月10日、ボルソナーロ次期大統領は、選挙高等裁判所で行われた当選認証式でスピーチを行った。主なポイントは以下の通り。

(ア) 来年1月1日から、2億1千万人のブラジル人の大統領となる。社会的出自、人種、性別、肌の色、年齢、宗派の区別なく、皆のための統治を行う。謙虚さとともに、神に対する信仰心をもって、我々を結び付ける目的、即ち、豊かで公平で世界の大国として相応しい地位を占める国家の建設に向けて邁進したい。

(イ) 国民が潜在力を発揮するためには、政府が適切な環境を整備する必要がある。より公平で発展した国を築くためには、進歩を遅らせてきた従来のやり方から決別しなければならない。汚職、暴力、嘘、イデオロギー的な人心操作に対し、ノーと言わなければならない。

(ウ) 我々の主張は、治安対策、犯罪撲滅、個人の利益と努力を尊重する機会の均等に関するものである。

(エ) 全員が一致団結して努力し、ブラジル人であることの誇り、国旗と国歌に対する誇りを取り戻そう。何よりもブラジルのために、神のために (Brasil acima de tudo, Deus acima de todos)。

#### (2) ボルソナーロ新政権の発足

1月1日、ボルソナーロ大統領及びモウラオン副大統領の就任式が連邦下院で行われた (我が国からは、山口泰明衆議院議員・日ブラジル友好議員連盟事務局長が特派大使として出席)。

同日付の官報に公示されたボルソナーロ新政権の布陣は次のとおり (非プロトコール順)。

大統領

ジャイル・ボルソナーロ

副大統領

アントニオ・モウラオン

文官長

オニッキス・ロレンゾーニ

大統領府政府調整庁長官

カルロス・サントス・クルース

大統領府事務総局長官

グスタヴォ・ベビアーノ

大統領府安全保障局長官

アウグスト・エレノ

経済大臣

パウロ・ゲデス

法務・治安大臣

セルジオ・モーロ

外務大臣

エルネスト・アラウージョ

国防大臣

フェルナンド・アゼヴェード

科学・技術・革新・通信大臣

マルコス・ポンテス

農業・畜産・供給大臣

テレーザ・クリスチーナ

保健大臣

ルイース・エンリケ・マンデッタ

教育大臣

リカルド・ロドリゲス

インフラ大臣

タルシージオ・ゴメス・デ・フレイタス

地域開発大臣

グスタヴォ・カヌート

市民大臣

オズマール・テッハ

観光大臣

マルセロ・テイシェイラ

鉱山・エネルギー大臣

ベント・コスタ・アルブケルケ

女性・家族・人権大臣

ダマーレス・アルヴェス

環境大臣

リカルド・デ・アキノ・サレス

連邦総監督大臣

ワグネル・ロザリオ  
連邦総弁護庁長官  
アンドレ・ルイス・メンドンサ  
中央銀行総裁  
ロベルト・カンポス・ネット

### (3) 2019年予算の議会承認

12月19日、連邦議会が2019年度予算法を承認。2019年度歳入・歳出額は、それぞれ3兆3,810億レアル。

## **【外交】**

### (1) COP25開催の見送り

12月12日、ボルソナーロ次期大統領は、FACEBOOKのライブ中継を通じ、ブラジルがパリ協定に留まることに否定的な見方を示し、2019年のブラジルのCOP25開催を見送る方針を発表。

### (2) 国連移住グローバル・コンパクトからの離脱発表

12月10日及び11日、マラケシュで国連主催「移住グローバル・コンパクト」採択会合が開催され、伯からヌネス外務大臣が出席し、「国連移住グローバル・コンパクト」に署名。他方、12月10日付で、アラウージョ次期外務大臣が、政権交代後に本枠組から撤退する考えをツイッターで発信し、新政権が本枠組みから離脱する方針が発表された。

### (3) 伯パラグアイ首脳会談

12月21日、テメル大統領とベニテス・パラグアイ大統領は、フォス・ド・イグアスで首脳会談を行い、「物理的統合に関する伯・パラグアイ共同声明」に署名。本声明により、両国をつなぐ2つの国際橋（フォス・ド・イグアスとプレジデント・フランコをつなぐパラナ川に架かる二つ目の橋、及び、ポルト・ムルチーニョとカルメロ・ペラルタをつなぐパラグアイ川に架かる橋）の建設に関する取決めが合意された。

## **3. トピックス**

### (1) 平成30年度天皇誕生日祝賀レセプションの開催

12月6日、在ブラジル日本国大使公邸にて平成30年度天皇誕生日祝賀レセプションが開催された。

山田大使は、開会式における挨拶の中で、日本人移住110周年の2018年は、皇太子殿下や眞子内親王殿下の御来伯を迎え、また、多くのイベントがブラジル各地で開催されたことで、大変記憶に残る年となり感謝したい旨述べた。その上で、ブラジルで新政権が誕生する来年に向け、引き続き各分野で両国間のさらなる関係強化に努めたい旨述べた（[山田大使の挨拶についてはこちらを参照](#)）。

会場には、和食のプロモーションとして、天ぷら及び寿司の屋台をはじめ、日本酒コーナー、豚汁コーナーが設けられた他、進出企業支援の一環として、ブラジルで活躍する日本企業5社（ヤ

クルト、NEC、パナソニック、日清、ミウラボイラー)が自社製品や技術の紹介を行った。

なお、同レセプションには、ブラジル政府、連邦議会、日系社会、民間企業、教育・文化・スポーツ関係、外交団等、約650名の出席者を得て、天皇誕生日を祝賀するとともに、交流が盛況に行われた。



開会式の様子



大使挨拶



レセプションの様子1



日本酒コーナー



企業ブース (日清)



企業ブース (ヤクルト)



企業ブース (NEC)



企業ブース (パナソニック)



企業ブース (ミウラボイラー)



山田大使夫妻と館員夫人

## (2) 平成 30 年度官民合同会議の開催

12月13日、サンパウロ市ジャパン・ハウスにおいて、平成30年度官民合同会議が開催された。

今回の官民合同会議では、ブラジル日本商工会議所、アマゾン日系商工会議所、南伯日本商工会議所、パラナ日伯商工会議所、リオデジャネイロ日本商工会議所及びパラ一日系商工会議所の各代表と、外務省の中南米局及び在ブラジル日本国大使館を始めとする在伯8公館並びにJICA、JBIC及びJETROの各代表、合わせて約50名が参加した。

在ブラジル日本国大使館からは山田大使が出席し、開会の挨拶において、日本人移住110周年に当たる2018年の日伯関係、大統領選挙に言及し、ボルソナーロ新政権に対する各界の期待等について述べた。

また、日本政府として、これまで日伯賢人会議、日伯経済合同委員会、日伯貿易投資促進・産業協力合同委員会、日伯インフラ協力会合、日伯農業・食料対話等の枠組みを通じて、ブラジルとの経済対話や交流促進を図り、両国間の経済関係の強化、貿易投資の拡大に日本企業とともに取り組んできたが、来年のG20日本開催も踏まえ、今後とも民間レベル、政府レベルでの経済対話を積み重ね、ブラジルの経済制度の改革やビジネス環境の改善に向けて、官民一体となって、粘り強い働きかけを継続することが重要である旨を述べた。

今般の会議では、国側と民間側それぞれにおける最近の活動状況について報告を行うとともに、ビジネス環境整備、日メルコスールEPAの可能性、日本産農林水産物輸出・食品の輸出促進等に関して、活発な意見交換が行われた。

本会議での議論が今後のブラジルにおける日系企業の一層の発展につながっていくことが期待される。



### (3)「ニッポカタリネンセ」「FANSC」と日本NPO法人「海の国・日本」による共同ワークショップ (在クリチバ総領事館)

9月9日、サンタカタリーナ州フロリアノポリス市にて開催された国際捕鯨委員会（IWC）に合わせて、日本NPO法人「海の国・日本」が同地にて水産資源の持続可能な利用をテーマとしたワークショップを実施した。開催にあたり、クリチバ総領事館は、日頃より日本語教育や日本文化普及に尽力する日系2団体「ニッポカタリネンセ」と「サンタカタリーナ日系協会連盟（FANSC）」から、会場や通訳の手配、集客等について全面的な協力を得ることにより、ワークショップは大きな成功を収めた。本イベントは、両日系団体の活動領域を国際的な場へ広げ、日本との民間交流を開始する契機となった。

なお、同IWC総会には、日本から60名を越える代表団が参加し、IWC改革案を提案したが、反捕鯨国の理解が得られず、デモが行われる中、同改革案が否決された。



#### (4) カスカヴェル文化体育協会50周年記念式典における日本祭り、太鼓公演及び太鼓ワークショップ (在クリチバ総領事館)

11月7日～11日、カスカヴェル文化体育協会の日本祭りにあわせ、パラナ州カスカヴェル市にて、日本から元「鼓童」の太鼓奏者である坂本雅幸氏と前田剛史氏を招へいし、ブラジル太鼓チームに対するワークショップや日本祭りにおけるソロ公演等を実施した。ワークショップは申込初日で応募が殺到し、カスカヴェル市に加え、クリチバ市、イタジャイ市、ロンドリーナ市、サンパウロ市、フロリアノポリス市、アチバイア市など様々な地域の太鼓グループから申請が寄せられた。結局各地域の太鼓グループから5名まで選抜してもらい、計45名がワークショップに参加した。日本祭りはこれまでにない盛り上がりを見せ、来場者は延べ4万人にもものぼった。また、坂本氏・前田氏の超一流の公演を聴き、太鼓を習い始めたいという子供達が増え、同協会の太鼓レッスンへの申し込みや問い合わせが増えている。



## 4. 大使館からのお知らせ

### (1) 文化イベント

#### (ア) バケツドラマーMASA 公演 (サンパウロ、リオデジャネイロ)

日時： ①2019年1月20日(日)  
②2019年1月25日(金)～1月27日(日)

場所： ①ジャパンハウスサンパウロ外土間  
Av. Paulista 52, São Paulo - SP  
②第2回リオデジャネイロ日本祭り

Av. Salvador Allende 6555, Barra da Tijuca Rio de Janeiro - RJ

内容：日本からバケツドラマーのMASAを招へいし、ジャパンハウスサンパウロの外土間及び第2回リオデジャネイロ日本祭りのステージにおいて、パフォーマンスを実施する。

URL：[http://www.fjsp.org.br/bucket\\_drummer\\_MASA](http://www.fjsp.org.br/bucket_drummer_MASA)

### (2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

### (3) ブラジル渡航情報

#### (ア) 危険情報

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで御確認下さい。

- ・ブラジルア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

[http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo\\_259.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html)

#### (イ) 安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html)

#### (ウ) テロ・誘拐情勢

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror\\_259.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html)